



いきものふれあいの里

「陶史の森」 だより

土岐市ネイチャーセンター ☎ 5144

クズと呼ばれているけれど

秋の七草は「ハギ・キキョウ・クズ・オミナエシ・フジバカマ・ススキ・ナデシコ」です。春の七草は「七草がゆ」として味を楽しみむものですが、秋の七草は見て楽しむものです。その中には市の花「キキョウ」や、日本女性の代名詞で、世界チャンピオンに輝き、国民栄誉賞を受賞したサッカー日本女子代表チームの愛称「ナデシコ」も入っています。

クズの花は、紅紫色の花が房になっていて、秋の七草にふさわしく上品な趣があります。クズは漢字で「葛」と表します。つる性の植物で、河原の土手や荒地など、日当たりの良い所ならどこにでも生えています。その勢いは旺盛で、時には木々を覆い尽くしてしまうことさえあり、厄介者扱いをされることも多いようです。

しかし、クズの根からはくず粉という良質のデンプンが採れ、くず湯、くずもち、くず切り、くずまんじゅうなどの材料として利用されています。また、くず粉のエキスは炎症や痛みを取るといわれ、昔から「葛根湯」という解熱剤として使用されています。このようにクズとは呼ばれても「屑」ではなく、とても価値のある植物なのです。残暑が厳しい日が続きますが、二十四節季では「白露」の候。朝夕の涼しさに秋の訪れが感じられます。

森の日記

夏の天体教室 7月23日(土)

例年ならば「梅雨明け10日」といって天気安定する頃ですが、今年は台風6号の影響で曇りがちな日が続いていました。幸い、この日は昼頃から雲が取れて晴れ間が広がりました。

『土星』の観測には、約50人の応募がありました。講師の佐橋さんから天体についての話を聞いた後、天体望遠鏡を使って土星の観察をしました。くっきりと見える土星の輪に、感動の声が多く聞かれました。



しだれ桜を植樹 7月24日(日)

陶史の森・せせらぎ公園で『郷土の環境を守る会』による植樹が行われました。同会が県内の優良な自然環境を訪ね、環境保全への意識を高めようと開催したもので、100人ほどの会員が見守る中、シダレザクラが植えられました。

教室のご案内

9月

●秋の虫の音教室(要申込・定員20人)

9月3日(土)午後7時～9時
秋に鳴く虫を探し、音を楽しむ

●陶史の森まつり

9月10日(土)午前10時～
小雨決行

●草木染め教室(要申込・定員20人)

9月18日(日)午前9時～11時30分
植物を使って自然の草木染めをする

●バードウォッチング(自由参加)

9月25日(日)午前9時～11時30分
秋の野鳥を観察(雨天中止)

10月

●自然教室(自由参加)

10月16日(日)午前9時～11時30分
秋の草花や木の実を観察(雨天中止)

●バードウォッチング(自由参加)

10月23日(日)午前9時～11時30分
秋の野鳥を観察(雨天中止)

陶史の森は自然環境保護地域です。動植物や石などは絶対に採らないでください。また、ペットの同伴はご遠慮ください。